

パラアイスホッケー

東海市在住

おかべ まなぶ

岡部 学 選手を 応援しよう!

ミラノ・コルティナ2026 パラリンピック冬季競技大会

大会期間 3月6日(金)～3月15日(日)

競技日程

予選Bグループ第1戦

3月7日(土)

PM6時5分～(日本時間)

VSチェコ

予選Bグループ第2戦

3月10日(火)

AM4時35分～(日本時間)

VSカナダ

予選Bグループ第3戦

3月11日(水)

AM4時35分～(日本時間)

VSスロバキア

※上位2チームが決勝ラウンドへ進出します。決勝ラウンドの競技日程は大会ホームページ等でご確認ください。※日程は変更となる可能性があります。



東海市在住 岡部 学 (おかべまなぶ)

◇出場種目 アイスホッケー ※ポジション:ゴールキーパー

プロフィール

生年月日:1980年9月9日(45歳) 出身地:名古屋市 所属:東海アイスアークス

経歴

2011年に交通事故で左下肢機能に障害を負うも、同僚の誘いをきっかけに2021年から競技生活をスタートさせ、東海市役所に勤めながら活躍中。直近では、2025ジャパンパラアイスホッケーチャンピオンシップ3位、カザフスタン・アスタナ2025世界選手権Bプール2位などの成績を収める。岡部選手としては初のパラリンピック出場となる。

パラアイスホッケーの簡単な説明

アイスホッケーと並び「氷上の格闘技」と呼ばれる激しいスポーツです。パラアイスホッケーでは、「スレッジ」と呼ばれるスケートの刃をつけた専用のそりに乗り、短いスティックを2本使ってプレーします。アイスホッケーと同じアイスリンクが使用され、ゴールの大きさや使用するパックも同じです。時間内に相手のゴールポストにパックを入れ、より多くの得点を獲得したチームの勝利となります。



出場できる選手

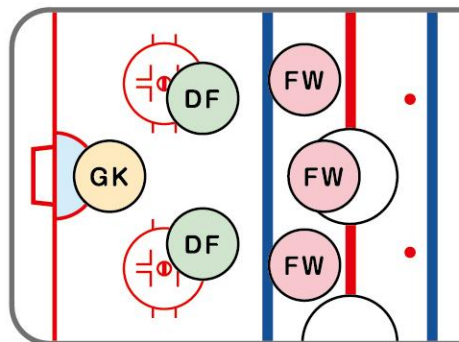
切断や脊髄損傷、麻痺、機能障がいなどで下肢に障がいがあり、World Para Ice Hockeyに認定された選手

試合人数

リンクの上で戦うのはゴールキーパー含め6名
FW(フォワード)3人、DF(ディフェンス)2人、
GK(ゴールキーパー1人) ※選手交代は試合中に随時行われます。

試合時間

1試合は各ピリオド15分の3ピリオド制



詳しいルールは
こちらから



「かんとん」パラアイスホッケーガイド 公益財団法人日本パラスポーツ協会

岡部選手インタビュー

- Q どのような思いで本格的にパラアイスホッケーを始められましたか。
- A まずは体験会という形でやってみたら、すごく面白くて、のめり込んでいきました。

- Q パラアイスホッケーを続けていく中で、嬉しかったこと、反対に苦労したことを教えてください。
- A なかなかできなかったことができるようになり、シュートを防いだときは嬉しく思います。スレッジやスティックは特殊で高価なものです。自分の体に合うようにスレッジを調整したり、スティックの規制品はかなり重く、会うものを自分で作成する時には苦労しました。

- Q パラアイスホッケーの見どころを教えてください。
- A パラアイスホッケーは、氷上の格闘技。スレッジ同士のぶつかり合う激しい衝撃音や両手のスティックを操ってゴールを狙うスピード感をぜひ見てほしいです。

- Q ゴーリー(ゴールキーパー)の注目ポイントを教えてください。
- A 全身でパックを止める時や時速100キロを超えるシュートをセーブするところです。

- Q パラリンピック出場が決まったときの気持ちは？
- A ほっとした気持ちです。
(最終的にセカンドゴーマーを僕を含め3名で争っていたため)

- Q パラリンピックに向けた意気込みを教えてください。
- A 皆様にいい報告ができるように、全身全霊で挑んでまいります。

- Q 市民の皆さんへ向けたメッセージをお願いします。
- A 東海市民の皆様、いつも温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。
この度、パラリンピックという大きな舞台に出場させていただくこととなりました。日頃は公務員として、市民の皆様の生活に寄り添う仕事に携わっておりますが、業務の傍ら、練習に励んでこられたのは、職場や地域の皆様のご深いご理解と支えがあったからです。競技者として全力を尽くすことはもちろん、一人の公務員としても、「限界に挑戦する姿」を通じて、市民の皆様に元気や希望をお届けしたいと考えています。皆様のご支援を力に変えて、精一杯戦ってまいります。温かいご声援をよろしくお願いいたします。

